

『前向きな気持ちをなくすな!』 『あきらめるな!強くあれ』 — 大切なのは続ける勇気 —

本誌編集長 佐藤 公 (さとう たかし)

(2025年冬将軍号)

『前向きな気持ちをなくすな!』
『あきらめるな!強くあれ!!』
は今年(2025年)、ドジャースを世界一に導いたロサンゼルス・ロバーツ監督(53)が、メジャー挑戦1年目の佐々木朗希投手(24)を激励した言葉である。

佐々木投手はポストシーズンでクローザーとして活躍するも春先に苦しんで泣いていた。ロバーツ監督は佐々木投手について「彼がまだまだ子どもだということ。彼は良い投球をしようと努力していた。メジャーリーグ、ドジャース、ロサンゼルス、彼にとつては初めてのものばかりです。彼は成功を収めていなかった。すべてが初めてだった。そして彼は自分が『すべての人を失望させている』と感じていた。私は何とか彼を育てていこう、サポートしていきたいと思った。私は彼を励まししました。『前向きな気持ちをなくすな』と言いました。

『あきらめるな!強くあれ!!』
戦うことから逃げるな』と言いました。そうしてシーズン終盤に戻ってきた佐々木投手は、たくましくなっていました。戦士として戻ってきた。泣いていた子どもが、9月に戻った時には戦士の顔だった(「報道ステーション」2025年11月20日放送、ロバーツ監督へのインタビューより)

『前向きな気持ちをなくすな!』
『あきらめるな!強くあれ!!』
は今日、さまざまな閉塞感で苦しんでいる人や、人生で生きることに苦悩している人にも投げかけたい、励ましと期待のメッセージでもある。

人生100年時代、長い人生をどう歩んでいくか、どんなに苦しくても、生きていければいつか「振り子の向き」が変わるのである。「人は、不幸のときは十にも思い、幸福のときは十を二のように思います」とは瀬戸内寂聴氏(小説家、天台宗の尼僧、2021年11月没、99歳)の言葉だ。

「成功に必要なものは偉大さとは限らない。必要なのは続けることだ。努力を続ければ成功につながる。偉大さは後からついてくる(ドウェイン・ジョンソン、アメリカの俳優、実業家、プロレスラー1972年生まれ、53歳)」

「ビジネスで成功するには、訓練と規律と努力が必要だ。しかしこれらを恐れることがなければ、今も昔も素晴らしいチャンスが訪れるものである(デヴィッド・ロックフェラー、アメリカの銀行家、実業家、2017年3月没、101歳)」

そして、過去の苦しみを抱えながらも「人生を諦めない」ことの大切さを、自身の体験とともに伝えたのは、イギリスの首相ウィンストン・チャーチル(1965年1月、95歳没)だ。

「絶対に、絶対に、絶対に、絶対にあきらめるな!どんなに苦しいときでも、まだ進める!」「成功とは、失敗を重ねても情熱を失わずに続けること」と語った。

チャーチルのこれらの言葉には、「失敗しても大丈夫。その情熱さえ消えなければ、必ず前に進める。ここで終わりじゃない」というシンブルで力強く、かつ温かいメッセージが込められている。

今年、日本は戦後80年、イギリスの第二次世界大戦のことに少し触れてみたい。

チャーチルは、ドイツのナチスやアドルフ・ヒトラーに対しては早くから警戒心を示し、第二次世界大戦が勃発した翌年の1940年に首相に就任。ドイツと対立し、フランスをはじめとする同盟国が敗北するなか、孤立したイギリスを強烈なリーダーシップで率い、ドイツの侵攻を退けた。

その後、アメリカの参戦を得て、ドイツに勝利する。ドイツ降伏直後の総選挙では敗北し、一時政権を失ったものの、1951年に76歳で首相に再び咲いた。また、作家としても著名であり、戦後、『第二次世界大戦』により

ノーベル文学賞を受賞している。(ウィキペディア)

チャーチルは「絶対に屈服(あきらめ)してはならない」と合わせて四度も繰り返し、「今は終わりではない。これは終わりの始まりではない。しかしあるいは、始まりの終わりかもしれない」

チャーチルが「屈服してはならない」と強く訴えたのは、第二次世界大戦初期の緊迫した状況だった。特に、ダンケルクからの撤退後、ドイツによるイギリス侵攻が現実味を帯びていた時期に、国民を鼓舞するために発せられた言葉である。

最後に、イギリス生まれのちにアメリカに移住した著作家、アラン・ウィルソン・ワッツ(19歳で最初の著書「The Spirit of Zen」を書いた。1973年11月没、58歳)の言葉を紹介しよう。

「人生を楽しむ本当の秘訣はこうです。今の場所で自分がしていることに全力で取り組むこと。そしてそれを仕事と呼ぶのではなく、遊びであると捉えることです」

「楽しむこと」「楽しませること」が2026年の開運ポイントと占星術にあった。平和で笑顔のある良い新年でありたい。そして来シーズン(2026年)のドジャース 佐々木朗希投手の成長 活躍が楽しみだ。